

トリミング起業ゼミ演習

(授業概要)

犬のグルーミング基礎を強化し、10犬種以上のその犬種にあったカットスタイルを学ぶ。

飼い主様への対応・説明を実際に行い、接客の実践練習を行う。

また周りをみて行動できる、向上心を持ち積極的な人材となる。

科	生命科学科	教員	神坂 美紀
コース	トリミングマネジメントゼミ	教員の実務経験	○
対象年次	2年	年間単位時間	35×28コマ

目標

前期

犬種ごとのカットスタイルを理解し、実践できる。鉋の動かし方を確実に丁寧に行うことができる。

飼い主対応、カットのオーダーの取り方を理解する。

猫のグルーミングを理解し実践する。

後期

技術の向上を意識し、トリミングマスターライセンス取得に向け時間配分・仕上がりを意識しカットが出来るようにする。(プードル:ベーシック90分・テディベアカット100分以内に仕上げ)

一人で接客対応・説明を行えるようになる。

猫のグルーミングを一人で1頭できるようになる。

授業計画

- 1回 カット講義 (プードルテディベアカット・ヨークー以外)
- 2回 モデルグルーミング (プードルテディベアカット・ヨークー)
- 3回 トリミング演習 (シャンプー犬1人で1頭)・下回りカット
- 4回 トリミング演習 (2人で1頭) 猫グルーミング実習
- 5回 トリミング演習 (2人で1頭)
- 6回 トリミング演習 (2人で1頭) 猫グルーミング実習
- 7回 トリミング演習 (2人で1頭)
- 8回 トリミング演習 (2人で1頭) 猫グルーミング実習
- 9回 トリミング演習 (2人で1頭)
- 10回 トリミング演習 (2人で1頭)・猫グルーミング実習
- 11回 トリミング演習 (1～2人で1頭)
- 12回 トリミング演習 (1～2人で1頭) 猫グルーミング
- 13回 前期期末試験・トリミング演習 (1～2人で1頭)
- 14回 前期期末試験・トリミング演習 (1～2人で1頭)・猫グルーミング実習
- 15回 トリミング演習 (1～2人で1頭)
- 16回 トリミング演習 (1～2人で1頭)・猫グルーミング実習
- 17回 トリミング演習 (1～2人で1頭)・特別講義 (ハサミについて)
- 18回 トリミング演習 (1～2人で1頭) 猫グルーミング実習

- 19回 トリミング演習（1～2人で1頭）・特別講義（シャンプーについて）
- 20回 トリミング演習（1～2人で1頭）猫グルーミング実習
- 21回 トリミング演習（1～2人で1頭）
- 22回 トリミング演習（1～2人で1頭）猫グルーミング実習
- 23回 トリミング演習（トリミングライセンス試験）
- 24回 トリミング演習（トリミングライセンス試験）
- 25回 トリミング演習（1人で1頭）・猫グルーミング実習
- 26回 トリミング演習（1人で1頭）
- 27回 トリミング演習（1人で1頭）
- 28回 トリミング演習（1人で1頭）・猫グルーミング実習
- 29回 トリミング演習（1人で1頭）
- 30回 トリミング演習（1人で1頭・オリジナルカット開始）・猫グルーミング実習
- 31回 トリミング演習（1人で1頭・オリジナルカット）
- 32回 トリミング演習（1人で1頭・オリジナルカット）
- 33回 トリミング演習（1人で1頭・オリジナルカット）
- 34回 トリミング演習（1人で1頭・オリジナルカット）
- 35回 トリミング演習（1人で1頭・オリジナルカット）

授業の方法

講義・実技実習

教材

カット資料・グルーミングマニュアル

評価の方法

期末試験80%、授業態度20%

授業外での学習方法

なし

実務経験と授業科目の関係

あり

開業準備・カウンセリング学

(授業概要)

- ・開業のイメージをし、開業に必要なことを学ぶ
- ・開業時に必要なスキルを身につける

科	生命科学科	教員	岡田 有沙
コース	トリミングマネジメントゼミ	教員の実務経験	○
対象年次	2年	年間単位時間	35

目標

前期

- ・自分の理想の店をイメージする。
- ・周りの情報を収集する癖をつける。
- ・売り場を知り、効果的な販売を知る。

後期

- ・サロンオープンの準備のイメージを持つ
- ・オーナー目線のイベント企画・流れを知る。

授業計画

- 1回 授業の説明・導入
- 2回 ペットサロンの形態
- 3回 理想のペットサロンを想像しよう
- 4回 立地のリストアップ・市場調査
- 5回 サロン起業に必要な申請書類
- 6回 顧客カルテ・預かりの契約書
- 7回 しょっぱい（売り場を見る）お客様の目線
- 8回 グループワーク（しょっぱいを見て）
- 9回 売場作成について（配置・並べ方）
- 10回 フォトブース作成（夏）
- 11回 売上 UP のマーケティング
- 12回 販売のコツ・声かけ・呼び込み・ビラ配り
- 13回 店内での受付
- 14回 電話での予約受付・電話での案内
- 15回 後期振り返り・試験前対策
- 16回 前期期末試験（実施）
- 17回 前期期末試験（返却・解説）
- 18回 商品仕入れの流れと接客
- 19回 経営者側が知っておくべき労務管理①

- 20 回 経営者側が知っておくべき労務管理②
- 21 回 経営者側が知っておくべき労務管理③
- 22 回 スタッフの雇用・面接する側として
- 23 回 商品の魅力
- 24 回 年間行事・効果的なセールの開催法
- 25 回 POP とは
- 26 回 POP（文字練習）①
- 27 回 POP（文字練習）②
- 28 回 POP（作成のコツ）
- 29 回 POP 作成
- 30 回 効果的なイベント開催法①
- 31 回 効果的なイベント開催法②
- 32 回 効果的なイベント開催法③
- 33 回 トリミングのカウンセリング
- 34 回 後期期末試験（実施）
- 35 回 後期期末試験（返却・解説）

じゅぎょう ほうほう 授業の方法

講義、グループワーク

きょうざい 教材

プリント

ひょうか ほうほう 評価の方法

きまつしけん 期末試験 80%、平常点 20%（しゅっせきりつ 出席率、じゅぎょうたいどなど 授業態度等）

じゅぎょうがい がくしゅうほうほう 授業外での学習方法

プリントとノートでの復習

じつむけいけん じゅぎょうかもく かんけい 実務経験と授業科目の関係

あり

就職演習

(授業概要)

- ・それぞれの目指す就職先への到達を目指す。
- ・就職活動において必要な知識、スキルを身につける。
- ・社会に出た際に必要となるマナーを身につける。

科	生命科学科	教員	岡田 有沙
コース	トリミングマネジメントゼミ	教員の実務経験	○
対象年次	2 年	年間単位時間	35

目標
前期
・ 自分を知り、就職のビジョンを明確にする。
・ 自己アピール力を高める。
後期
・ グループでの話し合い方について学ぶ。
・ 社会人として求められる一般常識を身に付ける。

授業計画
1 回 就職への道
2 回 自己分析①
3 回 価値観①
4 回 価値観②
5 回 求めるもの①
6 回 求めるもの②
7 回 自己分析②
8 回 自己アピール力・他己分析
9 回 強みとスキル
10 回 応募書類・書類審査について
11 回 自己PR 作成①
12 回 自己PR 作成②
13 回 志望動機の書き方
14 回 履歴書のポイント・職務経歴書について
15 回 挨拶状のポイント・前期振り返り
16 回 前期期末試験（実施）
17 回 前期期末試験（返却・解説）
18 回 就活進捗状況確認①
19 回 就活進捗状況確認②
20 回 面接①

21 回 面接②
22 回 面接③
23 回 グループディスカッション①
24 回 化粧について
25 回 グループディスカッション②
26 回 会社に求められる能力
27 回 ビジネスマナー ～社会人になったら～①
28 回 ビジネスマナー ～社会人になったら～②
29 回 ビジネスマナー ～社会人になったら～③
30 回 近況報告書①
31 回 近況報告書②
32 回 ビジネスマナー・一般常識①
33 回 ビジネスマナー・一般常識②
34 回 後期期末試験（実施）
35 回 後期期末試験（返却・解説）

じゅぎょう ほうほう
授業の方法

講義

きょうざい
教材

プリント

ひょうか ほうほう
評価の方法

きまつ しけん 期末試験 80%、平常点 20%（しゅっせきりつ 出席率、じゅぎょうたいどなど 授業態度等）

じゅぎょうがい がくしゅうほうほう
授業外での学習方法

プリントとノートでの復習

じつむけいけん じゅぎょうかちく かんけい
実務経験と授業科目の関係

あり

基礎健康管理学 II

(授業概要)

犬、猫を中心とした身近な動物のエマージェンシー時の症状、応急処置について学び、対処法、予防策について、一般的にできる最低限の内容を理解する。

動物の一生涯において、ステージごとに関わる内容について学ぶ

科	生命科学科	きょういん 教 員	寺 鼻 友美
コース	トリミングマネジメントゼミ	きょういん じつむけいけん 教 員 の実務経験	○
たいしょうねんじ 対 象 年 次	2 年	ねんかんたんいじかん 年間単位時間	35

目 標

前期

エマージェンシーとは何かを理解し、症状に早く気づける観察ポイントなどの知識を学ぶ。最低限の応急処置、対応ができること、それに加え予防策、接し方を習得する。実際の症例課題を与え、問題点、応急処置対策などを考え、身近に起こりうる事を実感する。

後期

引き続き、エマージェンシー対応の方法を学ぶ。動物の生涯ステージごとの接し方、注意点などを理解し最終形態である「死」についても理解を深める。

授 業 計 画

- 1 回 授業について エマージェンシーとは
- 2 回 状態確認の方法
- 3 回 外科の応急処置 応急処置 出血①
- 4 回 応急処置 出血②
- 5 回 応急処置 やけど①
- 6 回 応急処置 やけど②
- 7 回 応急処置 熱中症①
- 8 回 応急処置 熱中症②
- 9 回 応急処置 ショック①
- 10 回 応急処置 ショック②
- 11 回 応急処置 ショック③
- 12 回 応急処置 骨折①
- 13 回 応急処置 骨折②
- 14 回 実習
- 15 回 実習
- 16 回 前期期末試験
- 17 回 前期期末試験返却
- 18 回 応急処置 眼球突出①
- 19 回 応急処置 眼球突出②

20 回	応急処置	けいれん発作①
21 回	応急処置	けいれん方法②
22 回	応急処置	感電
23 回	応急処置	窒息
24 回	応急処置	誤食①
25 回	応急処置	誤食②
26 回	応急処置	中毒①
27 回	応急処置	中毒②
28 回	グリーフケア	①
29 回	グリーフケア	②
30 回	老齢動物の飼育管理	
31 回	若齢動物の飼育管理	
32 回	安楽死	エンゼルケア
33 回	安楽死	エンゼルケア
34 回	後期期末試験	
35 回	後期期末試験返却	

授業の方法

座学、グループワーク

教材

コンパニオンアニマルの新健康管理学 プリント 動物

評価の方法

期末試験 80%、平常点 20%（出席率、授業態度等）

授業外での学習方法

なし

実務経験と授業科目の関係

あり（動物看護師）

アニマルケア概論

（授業概要）

ペットに関わる職業（トリマー、トレーナー、動物看護師、ショップ、動物保護等）に就くために知っておくべき知識として、ホリスティックアニマルケア、ペットアロマセラピー（講義）、ホリスティックマッサージ（実習）を中心に学び習得する

科	生命科学科	きょういん 教 員	荻野
コース	トリミングマネジメントゼミ	きょういん じつむけいけん 教 員 の 実 務 経 験	○
たいしょうねんじ 対 象 年 次	2 年	ねんかんたんいじかん 年 間 単 位 時 間	35

目 標

前期

ホリスティックアニマルケア アロマセラピーを通じて、ペットの生活の質の向上を図るためにアロマの基礎知識を習得し、日本アロマ環境協会 アロマセラピー検定 1 級合格を合格できるようになる。

後期

スキンマッサージを習得し、動物にリラックスと癒しを提供できるようになる。

全期を通して、人と動物の関係、そして動物とのより豊かな暮らしを考え、行動できる。

授 業 計 画

- 1 回 1 動物を飼う 「環境編」 1 動物を飼う 「予防編」
- 2 回 1 動物を飼う 「愛情・絆編」 まとめ
- 3 回 2 ペットとストレス 3・4 ストレスの原因
- 4 回 5 アロマセラピー 6 精油とは
- 5 回 7・8 精油の希釈濃度 植物が芳香物質を含有するようになった理由
- 6 回 9・10 精油の抽出方法 11・12 においと嗅覚
- 7 回 13・14・15 嗅覚の伝達メカニズム アロマのメカニズム
- 8 回 16 アロマセラピーと基材
- 9 回 17・18 アロマセラピーの取り入れ方
- 10 回 30 種類の精油について
- 11 回 ホリスティックアロマまとめ
- 12 回 ペットアロマ実践
- 13 回 試験対策
- 14 回 前期期末試験
- 15 回 前期期末試験返却
- 16 回 ホリスティックマッサージとは ①なでる 手法実技
- 17 回 ②たたく 手法実技
- 18 回 ③引っ張る 手法実技
- 19 回 ④揺らす 手法実技
- 20 回 ⑤もむ 手法実技
- 21 回 ⑥押しまわす 手法実技

22 回 ⑦手を当てる 手法実技
23 回 応用編
24 回 応用編
25 回 技術確認
26 回 実技テスト
27 回 実技テスト
28 回 実技テスト
29 回 実技テスト
30 回 食事栄養管理について①
31 回 食事栄養管理について②
32 回 後期期末試験
33 回 後期末試験返却
34 回 食事栄養管理 実習
35 回 年間まとめ

じゅぎょう ほうほう
授業の方法

講義、演習、グループワーク

きょうざい
教材

ノートプリント 1～22 マッサージ関連プリント 10 枚 精油一覧表

ひょうか ほうほう
評価の方法

きまつしけん
期末試験80%、出席率 20%

じゅぎょうがい がくしゅうほうほう
授業外での学習方法

動物にかかるストレスを意識し、常にストレスがかからないように行動する

じつむけいけん じゅぎょうかもく かんけい
実務経験と授業科目の関係

D-HAB 経営

老齡犬ケア

(授業概要)

老犬の健康管理、ケア、介護、また老犬を持つオーナー様へのケアなど実際に仕事についたときに実践、アドバイスができる知識を学ぶ。

科	生命科学科	きょういん 教員	稲岡
コース	トリミングゼミ	きょういん じつむけいけん 教員の実務経験	○
たいしょうねんじ 対象年次	2年	ねんかんとんいじかん 年間単位時間	35

目標

前期

老齡犬の基礎健康管理を学び、どのような変化が訪れ、どのように対応していくのかを学び、老犬がどのようなものをイメージできるようになる。

後期

老齡犬の介護の方法、家庭でのケア方法、オーナー様のケアを学び、具体的に将来どのように活かしていくのかを各自考えられるようになる。

授業計画

- 1回 授業の説明、老齡犬について①
- 2回 老齡犬について②、老齡犬の身体的トラブル①
- 3回 老齡犬の身体的トラブル②
- 4回 老齡犬の身体的トラブル③
- 5回 老齡犬の身体的トラブル④
- 6回 老齡犬の身体的トラブル⑤
- 7回 老齡犬の身体的トラブル⑥
- 8回 老齡犬の身体的トラブル⑦
- 9回 老齡犬の身体的トラブル⑧
- 10回 老齡犬の身体的トラブル⑨
- 11回 老齡犬の身体的トラブル⑩
- 12回 介護①
- 13回 介護②
- 14回 介護③
- 15回 介護④
- 16回 前期期末試験
- 17回 前期期末試験
- 18回 介護⑤
- 19回 介護⑥
- 20回 介護⑦
- 21回 介護⑧

22 回 介護⑨
 23 回 介護⑩
 24 回 介護まとめ
 25 回 自然医学療法
 26 回 老齢犬のオーナーケア①
 27 回 老齢犬のオーナーケア②
 28 回 老齢犬のオーナーケア③
 29 回 老齢犬のオーナーケア④
 30 回 老齢犬のオーナーケア⑤
 31 回 老齢犬のオーナーケア⑥
 32 回 老齢犬のオーナーケア⑦
 33 回 後期期末試験
 34 回 後期期末試験
 35 回 就職したうえでの授業知識の展開

じゅぎょう ほうほう
 授業の方法

講義

きょうざい
 教材

なし

ひょうか ほうほう
 評価の方法

きまつしけん 期末試験80%、じゅぎょうたいど 授業態度20%

じゅぎょうがい がくしゅうほうほう
 授業外での学習方法

機会があれば老齢犬に関わり、普段の様子を観察する

じつむけいけん 実務経験と じゅぎょうかちく 授業科目の かんけい 関係

あり

生体管理・フード学

(授業概要)

五大栄養素の基礎的な知識、犬猫に必要な栄養素、エネルギー要求量、ライフステージ毎の栄養管理、ペットフードの基本的知識など、動物の状態に適合した食事管理についての知識を身に着ける。
ペットホテルの管理や小動物のグルーミングをマスターする。

科	生命科学科	教員	伊勢
コース	トリミングマネジメントゼミ	教員の実務経験	○
対象年次	2年	年間単位数	35

目標

前期

五大栄養素について理解をする。BCS やエネルギー要求量の計算方法を身に着ける

後期

フードの歴史、種類、選び方、ライフステージ別のフードの違い、アレルギーについて身に着ける。
小動物のグルーミングを身に着ける。

授業計画

- 1回 栄養学とは/栄養を摂取するとは
- 2回 五大栄養素（たんぱく質）
- 3回 五大栄養素（たんぱく質）
- 4回 五大栄養素（炭水化物）
- 5回 五大栄養素（炭水化物）
- 6回 五大栄養素（脂質）
- 7回 五大栄養素（脂質）
- 8回 五大栄養素（ビタミン）
- 9回 五大栄養素（ビタミン）
- 10回 五大栄養素（ミネラル）
- 11回 五大栄養素（ミネラル）
- 12回 課題
- 13回 課題
- 14回 課題
- 15回 ボディコンディショニングスコア（BCS）
- 16回 前期期末試験(実施)
- 17回 前期期末試験(返却・解説)

- 18回 エネルギー要求量
- 19回 フードの歴史
- 20回 4D/フードの種類（ドライ・セミモイスト・ウェット）
- 21回 フードの種類（総合栄養食・栄養補助食・特別療法食）
- 22回 パッケージのみかた/添加物・酸化防止剤・保存料
- 23回 ライフステージ（哺乳期・離乳期・成長期）
- 24回 ライフステージ（維持期・高齢期）
- 25回 食物アレルギー
- 26回 小動物グルーミング
- 27回 小動物グルーミング
- 28回 小動物グルーミング
- 29回 課題
- 30回 課題
- 31回 小動物グルーミング
- 32回 後期期末試験(実施)
- 33回 後期期末試験(返却・解説)
- 34回 小動物グルーミング
- 35回 小動物グルーミング

じゅぎょう ほうほう
授業の方法

講義、実習

きょうざい
教材

なし

ひょうか ほうほう
評価の方法

きまつしけん 期末試験 80%、平常点 しゅっせきりつ 20%（じゅぎょうたいど 出席率、授業態度等）

じゅぎょうがい がくしゅうほうほう
授業外での学習方法

ペットショップでフードや用品を見る

じつむけいけん じゅぎょうかもく かんけい
実務経験と授業科目の関係

あり

動物関連法規学Ⅱ

(授業概要)

主に飼い主や所有者として知っておくべき動物に関する法律について学ぶ。

科	生命科学科	教員	井田 竜馬
コース	トリミングゼミ	教員の実務経験	○
対象年次	2年	年間単位時間	35

目標

前期

動物の法的立場や飼い主の責任について理解していく。

後期

マンションにおけるペット問題、動物の譲渡等においてトラブルに巻き込まれないために実例などを元に理解していく。

授業計画

- 1回 動物の法的立場 (1) 法律における動物の位置づけ
- 2回 動物の法的立場 (2) 動物に財産を残す場合 その1
- 3回 動物の法的立場 (3) 動物に財産を残す場合 その2
- 4回 動物の法的立場 (4) 保護動物を飼育する場合 その1
- 5回 動物の法的立場 (5) 保護動物を飼育する場合 その2
- 6回 飼い主の法的責任 (1) 民法第718条について その1
- 7回 飼い主の法的責任 (2) 民法第718条について その2
- 8回 飼い主の法的責任 (3) 実例を元に考える その1
- 9回 飼い主の法的責任 (4) 実例を元に考える その2
- 10回 飼い主の法的責任 (5) 実例を元に考える その3
- 11回 マンションにおけるペット問題 (1) 管理規約とは
- 12回 前期期末試験
- 13回 前期期末試験返却
- 14回 マンションにおけるペット問題 (2) 使用細則とは
- 15回 マンションにおけるペット問題 (3) ペット可のマンションについて
- 16回 マンションにおけるペット問題 (4) ペット不可のマンションについて
- 17回 動物を預かる際に気を付けるべき事柄 (1) 寄託契約その1
- 18回 動物を預かる際に気を付けるべき事柄 (2) 寄託契約その2
- 19回 動物を預かる際に気を付けるべき事柄 (3) 寄託契約に関する実例
- 20回 動物を譲り渡す際に気を付ける事柄 (1) 贈与契約その1
- 21回 動物を譲り渡す際に気を付ける事柄 (2) 贈与契約その2
- 22回 動物を譲り渡す際に気を付ける事柄 (3) 贈与契約その3
- 23回 身体障害者補助犬法 (1) 法の概要
- 24回 身体障害者補助犬法 (2) 身体障害者補助犬の定義

- 25 回 身体障害者補助犬法（3）アクセスの保証その 1
- 26 回 身体障害者補助犬法（4）アクセスの保証その 2
- 27 回 後期期末試験
- 28 回 後期期末試験返却
- 29 回 獣医師法と愛玩動物看護師法（1）法の概要
- 30 回 獣医師法と愛玩動物看護師法（2）診療行為とは何か
- 31 回 獣医師法と愛玩動物看護師法（3）トリマーやトレーナーが行える行為など
- 32 回 鳥獣保護法（1）身近な動物の規制について その 1
- 33 回 鳥獣保護法（2）身近な動物の規制について その 2
- 34 回 鳥獣保護法（2）身近な動物の規制について その 3
- 35 回 2 年総復習

じゅぎょう ほうほう 授業の方法

講義

きょうざい 教材

テキスト、自作のプリント

ひょうか ほうほう 評価の方法

きまつしけん 期末試験 80%、平常点 20%（しゅっせきりつ 出席率、じゅぎょうたいど 授業態度等）

じゅぎょうがい がくしゅうほうほう 授業外での学習方法

1 回 1 回の授業ノートに関してポイントを各自纏めなおし、随時チェックする。

じつむけいけん じゅぎょうかもく かんけい 実務経験と授業科目の関係

あり

簿記

(授業概要)

企業内での財政状態・経営成績の把握、また経営上の現状認識を高め、問題点・課題点克服のために会計知識を利用することができるように、そのための目標として、日本商工会議所が主催する簿記検定の合格を目指す。

か 科	生命科学科	きょういん 教 員	吉川
コース	トリミングマネジメントゼミ	きょういん じつむけいけん 教 員 の 実 務 経 験	○
たいしょうねんじ 対 象 年 次	2 年	ねんかんたんいじかん 年間単位時間	35×3 コマ

目 標

前期・後期

簿記・会計の仕組みと流れを把握し、日常取引の仕訳・転記が行えるようにする。また、決算整理の内容と意味を理解し、試算表・精算表・財務諸表を作成できるようになる。検定試験に向けて復習・対策を行い試験合格を目指す。

授 業 計 画

- 1 回 簿記について、貸借対照表・損益計算書、簿記の 5 要素
- 2 回 商品売買
- 3 回 現金、預金、当座借越、小口現金
- 4 回 手形、電子記録債権（債務）
- 5 回 貸付金・借入金
- 6 回 その他の債権債務
- 7 回 その他の費用
- 8 回 貸倒れと貸倒引当金
- 9 回 有形固定資産と減価償却
- 10 回 株式の発行、剰余金の配当（処分）
- 11 回 法人税等と消費税
- 12 回 前払い・前受け・未払い・未収、訂正仕分け
- 13 回 帳簿への記入
- 14 回 試算表の作成
- 15 回 前期まとめ、試験対策
- 16 回 前期期末試験
- 17 回 伝票・仕分日計表
- 18 回 前期振り返り
- 19 回 精算表、財務諸表
- 20 回 帳簿の締め切り
- 21 回 検定対策①
- 22 回 検定対策②

23 回 検定対策③
24 回 検定対策④
25 回 検定振り返り
26 回 日商検定対策模擬試験①
27 回 模擬試験振り返り
28 回 日商検定対策模擬試験②
29 回 模擬試験振り返り
30 回 日商検定対策模擬試験③
31 回 模擬試験振り返り
32 回 後期試験対策①
33 回 後期試験対策②
34 回 後期期末試験
35 回 1 年の振り返り

じゅぎょう ほうほう
授 業 の 方 法

講義

きょうざい
教 材

テキスト、問題集

ひょうか ほうほう
評 価 の 方 法

きまつしけん 期末試験 80%、じょうたんとく 平常点 20% (しゅっせきりつ 出席率、じゅぎょうたいど 授業態度等)

じゅぎょうがい がくしゅうほうほう
授 業 外 で の 学 習 方 法

なし

じつむけいけん 実務経験と じゅぎょうかもく 授業科目の かんけい 関係

あり

動物人間関係学

(授業概要)

人と動物の関係を歴史でさかのぼりながら学び、現代の動物福祉問題を幅広く知り、考えられるようにする。そして社会に出てからも問題に関心を持ち、自らの動物に対する考えを確立できるようにする。

科	生命科学科	教員	伊勢
コース	トリミングマネジメントゼミ	教員の実務経験	○
対象年次	2年	年間単位時間	35

目標

前期

- ・人と動物の関係性を歴史で遡りながら把握する。
- ・現代の人の社会での動物の立場を理解する。

後期

- ・動物が人に与える影響を知る。
- ・人が動物に与える影響を知り、問題を捉え、様々な意見を通じて自ら考える力を身に付ける。

授業計画

- 1回 現代のペット事情を知る
- 2回 現代のペット問題を考えよう
- 3回 ヒトと動物の歴史(日本)①
- 4回 ヒトと動物の歴史(日本)②
- 5回 ヒトと動物の歴史(日本)③
- 6回 ヒトと動物の歴史(世界)①
- 7回 ヒトと動物の歴史(世界)②
- 8回 ヒトと動物の歴史(世界)③
- 9回 動物福祉・動物愛護
- 10回 法律上での動物
- 11回 産業動物について
- 12回 実験動物について
- 13回 展示動物について
- 14回 野生動物について
- 15回 前期期末試験(実施)
- 16回 前期期末試験(返却・解説)
- 17回 動物が人に及ぼす影響

- 18 回 子どもと動物
- 19 回 高齢者と動物
- 20 回 罪を犯した人と動物
- 21 回 殺処分について①
- 22 回 殺処分について①
- 23 回 動物虐待について①
- 24 回 動物虐待について②
- 25 回 多頭飼育崩壊について①
- 26 回 多頭飼育崩壊について②
- 27 回 ペットロスについて①
- 28 回 ペットロスについて②
- 29 回 ペットの安楽死について①
- 30 回 ペットの安楽死について②
- 31 回 ペットの社会進出①
- 32 回 ペットの社会進出②
- 33 回 後期期末試験(実施)
- 34 回 後期期末試験(返却・解説)
- 35 回 振り返り

じゅぎょう ほうほう
授業の方法

オリジナルのテキストに準じて進めて行く。

きょうざい
教材

特になし

ひょうか ほうほう
評価の方法

きまつしけん 期末試験 80%、しゅつせきりつ 平常点 20%（じゅぎょうたいど 出席率、授業態度等）

じゅぎょうがい がくしゅうほうほう
授業外での学習方法

関係書籍を読む。

じつむけいけん じゅぎょうかもく かんけい
実務経験と授業科目の関係

あり